

テーマ	企業経営の新しい視点「経営品質」について
目的	競争優位を実現する「経営品質向上プログラム」を導入する
対象	経営者、経営幹部、経営企画責任者
案内	<p>厳しい経営環境に適応し、卓越した業績を実現するためには、経営活動全体を「経営品質」として捉え、「経営品質」を高める取組みが必要です。また、「経営品質」の向上は、顧客に評価される企業への変革、全員が顧客満足に取り組む企業の創造であり、トップの強いリーダーシップが求められます。</p> <p>企業の「経営品質」を評価する「日本経営品質賞」は、アメリカを再生させた要因の一つである「マルコムボルドリッジ賞」をモデルに作られた「経営品質向上プログラム」です。</p> <p>本来、中小企業はトップのリーダーシップが発揮されやすい体質を持っています。「経営品質向上プログラム」に基づいて、顧客から評価される企業体質の創造にチャレンジしましょう。</p>
期間・時間	3時間
講師	イーエムイーコンサルタンツ株式会社 代表取締役 小野 知己
費用	
内容	

カリキュラム	概要
第一章 経営品質への取組みが業績向上の源泉 1 問題提起 ① 顧客視点のない経営 ② 経営品質とは何か 2 A社のチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 顧客視点のない経営で、業績が低迷したA社 ○ 経営品質は、企業活動すべてを品質として捉える考え方 ○ 経営品質向上に向けたA社のチャレンジ、トップのリーダーシップに基づく組織の変革
第二章 経営品質向上プログラム 1 日本経営品質賞の背景 2 日本経営品質賞の基本理念 3 経営品質を評価する8つの基準 4 日本経営品質賞とISO9000 5 受賞企業例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本理念「顧客本位」「独自能力」「社員重視」「社会との調和」 ○ 経営品質向上プログラムの体系と評価の視点 ○ ISO9000との違い ○ 受賞企業の卓越した顧客価値創造モデルの紹介
第三章 経営品質向上プログラムの導入に向けて 1 受賞企業のトップの言葉 ① トップの強い意志 ② トップのマニュアル ③ 継続こそ力 ④ DNAをつくる 2 経営品質に終わりはない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業の変革には、トップの強い意志が必要、それなくして導入すると結果は導入前より悪化する ○ 日本経営品質賞の評価基準はトップのマニュアルである ○ 継続することが最も近道 ○ 卓越した業績を生み出す仕組みと風土をつくる